

◆◆ 2024(令和6)年度 外出及び季節行事による機能訓練計画 ◆◆

2024(令和6)年4月1日より実施

	月	季節活動	外出活動	調理実習	季節食	他行事等
2024年 令和6年	4月	○けやきの森平和を祈る千羽鶴プロジェクト (手指・回想法・脳トレ)	○護国神社へ桜花見 (歩行・回想法)		○桜メニュー	
	5月	○壁画作り<夏> (手指・アートセラピー・脳トレ)			○端午の節句 ○孟宗筍尽くし	○菖蒲湯
	6月	○藍染め (手指・アートセラピー・脳トレ)		○しそ巻き作り (回想法・手指・上肢)		○春の火災訓練
	7月	○千羽鶴完成(手指・回想法・脳トレ)	○出羽園へ散策 (手指・アートセラピー)		○七夕メニュー ○土用丑の日	
	8月	○名前入りキーホルダー作り (手指・アートセラピー)	○山形市平和祈念式典出席 (歩行・回想法)		○山形の駅弁	
	9月	○季節装飾作成<秋> (手指・アートセラピー)	○陶芸教室 (手指・アートセラピー・上肢・歩行)		○敬老の日祝い膳 ○創立祝い膳 ○おはぎ<秋彼岸>	○公民館作品出品 ○敬老の日 ○創立記念
	10月	○フラワーアレンジメント (手指・アートセラピー)	○山寺へ紅葉狩り (歩行・回想法)		○芋煮会	
	11月	○クリスマス飾り作り (手指・アートセラピー)	○出羽コミュニティセンター文化祭 出品・出展	○スイートポテト作り (日常動作訓練・手指・上肢)		○秋の避難訓練
	12月	○壁画作り<冬> (手指・アートセラピー)			○冬至 ○クリスマス ○年越し麺	○冬至・ゆず湯
2025年 令和7年	1月	○団子木作り (回想法・日常動作訓練・教え手)	○初市へ団子木購入 (歩行・回想法・脳トレ・コミュニ ケーション法)		○おせち ○七草”納豆汁” ○鏡開き	
	2月	○節分豆まき (回想法・手指・可動域)	○旧正月・初詣 (歩行・回想法)		○節分・恵方巻き ○バレンタイン	
	3月	○壁画作り<春> (手指・アートセラピー・脳トレ)			○雛祝い膳 ○おはぎ<春彼岸>	

※個別機能訓練に基づいて行います。午前の部:学習による脳活プログラム。午後:身体機能向上プログラムで構成されています。

※歌体操、梅干し体操、嚙下体操、口腔体操は毎日実施します。

※外出レクリエーションは、社会環境内での活動・交流・集団行動・歩行状態等についての機能訓練として、取り組んでいます。

※曜日によっては、外出企画に当たらない場合があります。事前に連絡帳にてご連絡しますのでご確認ください。場所が変更になる可能性もございます。

○出羽地区文化祭(10月開催)展示品への出品予定…壁画(貼り絵)

◆◆ 活動・機能訓練内容の目的 ◆◆

◆定期活動による機能訓練の目的と効果

○回想法

- 1.情緒安定…輝いていた時代を再認識・自尊心の復活・行動の安定
- 2.脳血流の促進…記憶の掘り起し・能動的発言・会話量の増加
- 3.関係性の強化…介護者の認識の変化・互いの理解が深まる

○学習法

- 1.潜在能力の回復…簡単な計算、文章の音読による脳の活性化
- 2.コミュニケーション力…話し言葉の明瞭化
- 3.充実感からの精神安定…“問題を解く、褒められる”

○園芸療法

- 1.自然界のパワー…見当識(季節・天候・時間・場所等)の補正
- 2.やりがい感…“世話をす、生長を観る、収穫する”事の達成感
- 3.リラクゼーション効果…外気に触れる・自然の風に吹かれる
- 4.自主的運動…負荷がかからない動作

○アートセラピー

- 1.自己表現力の回復…五感のフル活用
- 2.共感し合える話題作り…活動意欲・自主的会話力
- 3.集中力の強化…達成感・目標の設定

○身体機能

- 1.転倒予防効果…筋力強化・体幹バランスの調整力アップ
- 2.脳全体の活性化…脳内のリラックス効果・脳内の血流促進
- 3.短期記憶力の向上…判断と動作運動機能の連動機能アップ

○コミュニケーション法

- 1.存在感の復活…家族の成員であること
- 2.順応性の強化…外出先の環境変化への適応力・集団行動力
- 3.情報発信能力の回復…教え手としての能力・文章構成力

○日常生活関連動作

- 1.食事と栄養…筋力維持・低栄養改善による認知症予防・楽しみ
- 2.体内時計の調整…活動と静養時間の明確化・昼夜逆転の解消
- 3.家族内での役割の復活…“できる・できている”事の復活と定着化
- 4.日常生活の充実…社会生活の維持と向上・自発性力

○外出活動

- 1.社会環境内での活動参加の定期的性
- 2.運動機能・認知能力・廃用性症候群の予防と評価
- 3.精神安定から生活の質の向上

◆外出及び季節行事による機能訓練の目的と効果

○山形の習慣・慣習を体験し、季節(記憶力の維持訓練)を感じいただく。

○集団行動や自宅・施設外の環境の中での適応力・順応性の強化。

○変化した環境の中でも、集中して取り組む能力の維持向上。

○多種多様な企画について、積極的に取り組もうとする意欲の向上を図る。

○山形の名所旧跡を巡り、スタッフに対しての教え手・解説者としての役割を担っていただく。

○帰宅時まで、次回利用時までの短期記憶維持能力を評価し、今後の治療のための情報提供に繋げていく。

○昨年、一昨年前の記憶維持の評価し、今後の介護の改善、医療介入に繋げていく。

○自宅に持ち帰りご家族との話題として会話の幅を広げてもらうための素材作りを行っていく。

◆◆ 個別機能訓練の評価について ◆◆

○活動や体験を通し、五感(視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚)の働きの低下が生じていないかどうかをモニタリングしています。

○変化があった場合、五官(目・耳・鼻・舌・皮膚)による身体器官によるものか、認知機能の定価によるものなのかを、各専門職のカンファレンスにて評価します。

○状況・症状によって、医療に繋げるための情報提供を行ない、早期治療への支援を行っています。